

# 誤用分析と教材開発

ヨフコバ四位エレオノラ（富山大学）  
yovshii@las.u-toyama.ac.jp

## 【要約】

本稿では、学習者による「テイル」形の作例をもとに、アスペクトの習得や運用をめぐる問題について考える。また、文法学習に重要な役割をもつ教材の影響についても考慮する。さらに、自律学習やより深い学びに役立てられる補助的リソースの役割についても提案する。

## 1. はじめに

日本語文法の中、習得や運用が困難な文法があり、上級になっても誤用が目立ち、問題を抱えている学習者がいる。アスペクトがその一つである。アスペクトの習得困難の背景には様々な要因がある。一般的に指摘されるのは学習者の母語の影響（学習者の母語のアスペクトの特徴）である。さらに大きく関わっているのは、アスペクトそのものの難しさである。これらに加え、学習スタイルや教育に由来する要因も考えられる。前者は、学習者個人の問題であり、学習者の能力や語学学習経験に関係がある。一方、後者は、教室での指導や使用教材など、指導側の問題である。

本研究では、教材にフォーカスを当て、教材の観点から、アスペクト教育の問題点について考える。また、教室使用の教材では対応が不十分な部分の補充やより深い学びに応用できる補助的リソースの役割についても提案する。アスペクトというカテゴリーの幅が広いので、本稿では、使用頻度が高い「テイル」形に着目し考察を行う。

## 2. 「テイル」形の用法

「テイル」形の機能・用法として一般的に区別されるのは、次の5つである（吉川 1973、1989；寺村 1984；工藤 1995；グループ・ジャマシー1998/2023 など）：①動作の継続、②結果の継続（結果の残存）、③繰り返し／反復<sup>1</sup>、④経験／回想<sup>2</sup>、⑤もとの状態<sup>3</sup>／単なる状態<sup>4</sup>。それぞれの用法の例は以下にある。

① 田中さんは手紙を書いている。

② 部屋の窓が開いている。

③ 毎朝、30分散歩している。

<sup>1</sup> 寺村（1984）は「習慣」と呼ぶ。

<sup>2</sup> 工藤（1995）、高見・久野（2006）は「パーフェクト」、「効力持続」と呼ぶ。また、『日本語文型辞典』（グループ・ジャマシー編 1998/2023）では、パーフェクトに関わる「経験」と「完了」という用法が異なるタイプとして分類されている。

<sup>3</sup> 吉川（1989）が用いている用語。

<sup>4</sup> 高見・久野（2006）が用いている用語。

- ④10年前にこの町を訪れている。  
⑤あそこに高い山がそびえている。

①～③は初級で導入される機能・用法である。しかし、特に、②が、学習者が上級になっても巧く使えない機能である。また、①と②の機能の区別に苦戦する学習者も多い。その主な原因は、①と②の区別に深く関わっている動詞のタイプの違いについて学習者が十分に理解していないということが挙げられる。さらに、「繰り返し／反復」に関しても、同じく「繰り返し／反復」を表すのに用いられる「ル」形との類似（毎朝、パンを食べている。毎朝、パンを食べる）を十分に認識していない学習者が多い。

すでに触れたように、学習者の誤用や不理解の背景には様々な要因が存在するが、本稿では、使用教材に注目して考えてみたい。

### 3. 教材における「テイル」形の扱い

本稿では、日本国内で作成・使用されている初級の総合教科書における「テイル」形の扱いについて考察する。考察には『みんなの日本語 初級』（2012/2013）と国際交流基金他（2014）『まるごと 日本のことばと文化 初級』<sup>5</sup>を用いる。これらの教科書に決める理由は、国内外での使用が多く、また多言語翻訳・解説が付いており、学習者が日本語以外のことばで文法の説明を読むことができるためである。

#### 3. 1 『みんなの日本語』

『みんなの日本語 初級』では、「テイル」形の機能・用法として取り上げられているのは、「動作の継続」（14 課）、「繰り返し・習慣」（15 課、28 課）、「結果の継続」（29 課）である。また、15 課では、「結果・状態の継続」という機能の一環として、一般的に「テイル」の形で使われる動詞（住んでいる、知っている、持っている）の用法について提示されている。

『みんなの日本語』における「テイル」形の意味の記述およびその用例に関してはいくつかの問題点が指摘できる<sup>6</sup>。たとえば、15 課に挙げられている「繰り返し」という用法の説明のために使われている例（ミラーさんは *IMC* で働いています）が「動作継続」としての解釈も可能であり、「繰り返し」の意味の明確な例示にはなっていない。また、機能の説明文には動詞タイプに関する記述がなく、一部の機能（「結果の継続」）に用いられる動詞の具体例のみが挙げられている<sup>7</sup>ので、「テイル」形の多様な機能・用法を区別するのに必要な条件が明瞭となっていない。

#### 3. 2 『まるごと』

『まるごと』では、「テイル」形の初出は『初級 1 A2』の 1 課（動作の継続）である。その後、「テイル」形が出現するのは 4 課である。4 課には、動作の継続と結果の継続という用法が混在しているが、動詞のタイプの違いによる機能の区別に関する明確な言及がないため、練習では、以下の例にあ

<sup>5</sup> 以下、『まるごと』と称する。

<sup>6</sup> 考察には、牧野他（2022）『みんなの日本語 翻訳・文法解説英語版』を用いる。

<sup>7</sup> 牧野他（2022）『みんなの日本語 翻訳・文法解説英語版』（29 課）。

るような誤用が（特に変化動詞（例 2, 3）の使用で）見られる<sup>8</sup>。

- (1) 子どもたちはそとでスキーを {します しています}。←概ね正用
- (2) 星がたくさん {出ます 出ています}。←誤用
- (3) 今、よく【はれます】→ {はれます}。←誤用

また、『まるごと』には、「ル」形による「繰り返し／反復」（『入門』）と「テイル」形による「繰り返し／反復」（『初級 1 A2』）について提示されているが、提示のある課が離れているため、学習者はその関連性には気付かない。

#### 4. 学習者の誤用

##### 4. 1 学習者の誤用と誤用の分析

学習者の誤用に関する研究は盛んに行われており、誤用の原因解明、誤用のメカニズム、誤用のパターンなどについて分析されることが多い。また、分析の結果は、作文指導や誤用修正のために活用されることが多いが、近年データベースとして蓄積され、コーパス構築に役立てられている。しかし、学習者の誤用が使用教材の観点から検証されることはない。また、学習者の誤用が新たな教材づくりのために応用されることもほとんどない<sup>9</sup>。

##### 4. 2 コーパスを用いた「テイル」の誤用に関する検証

ここでは、コーパスデータから「テイル」形の誤用について検証を行っている砂川（2021）の研究結果を踏まえ、「テイル」形の誤用の特徴について考慮してみたい。

砂川は、多言語母語の日本語学習者横断コーパス（IJAS）<sup>10</sup>を用いて、学習者の母語の違いの観点から、動詞の語彙的なアスペクトの違いとの関連で、「テイル」形の運用（正用・誤用）について検証を行っている。そして、英語話者と韓国語話者が動作動詞と変化動詞のどちらも正答率が高い一方、韓国語、英語、ハンガリー語のグループが動作動詞より変化動詞のほうが、ベトナム語、中国語、インドネシア語のグループが変化動詞より動作動詞のほうが高い正答率を示していると結論づけている。また、砂川は誤用について次の傾向を指摘している：

- 1) 結果残存の「テイル」を使うべきところで完成相の「シタ」を使っている（倒れている→倒れた）
- 2) 動作継続の「テイル」を使うべきところで「スル」を使っている（話している→話す）

#### 5. 実践

日本語学習者は、上級になっても、「テイル」形の使用で誤用が多い。誤用の原因の一つは、砂川（2021）も指摘するように、学習者が動詞のタイプ（動詞の語彙的なアスペクト）の違いを十分に理解していな

<sup>8</sup> 練習問題には、選択肢の問題（例 1, 2）と形作りの問題（例 3）がある。

<sup>9</sup> 『日本語誤用辞典』（市川、2010）が誤用分析を活かした数少ないリソースの一つである。

<sup>10</sup> I-JAS (<https://chunagon.ninjal.ac.jp/ijas/search>) は、日本を含む 20 の国と地域で、異なる 12 言語（インドネシア語、スペイン語、タイ語、トルコ語、ドイツ語、ハンガリー語、フランス語、ベトナム語、ロシア語、英語、韓国語、中国語）を母語とする日本語学習者 1000 人の話し言葉および書き言葉を横断的に調査し、データを収集したコーパスである。

いことである。学習者の理解が不十分であることの背景には教材の影響がある。教材の分析ですで見えてきたように、動詞のタイプについて情報を提示する教材がほとんどない。しかし、直説教授法が使われている日本国内の多国籍クラスや多様な目的をもつ学習者の一般的なクラスの授業では、動詞のタイプのような複雑で専門性の高い言語要素に関する指導は難しい。一方、たとえ複雑な文法の要素であったとしても、学習者が母語でその文法について情報を得ることができれば、理解が深まり、文法形式の運用にも改善が可能であると考えられる。

本研究では、動詞のタイプについて学習者の認識を高め、また、それにより「テイル」形の正用率を上げるということを目的として行った実践について報告する。

### 5. 1 実践の概要

本研究のために行った実践の概要は次の通りである。

- ・実践を実施した授業：2025年度前期の教養科目「日本語リテラシー I」
- ・実践に参加した学習者：「日本語リテラシー I」を受講している学生 19名（うち 5名が短期留学生）
  - ・学習者の国籍：中国<sup>11</sup>（9名）、台湾（1名）、韓国（1名）、マレーシア（7名）、トルコ（1名）
  - ・学習者の日本語レベル：N1（4名）、N2（7名）、N3（1名）、JLPT 未受験（7名）
- ・実践に用いた資料：図 1<sup>12</sup>



図 1 許夏珮（1997）「中・上級台湾人日本語学習者による『テイル』の習得に関する横断研究」  
『日本語教育』95:37-48

<sup>11</sup> 下線が付いている国には短期留学生が含まれている。

<sup>12</sup> IJAS のデータ収集に使用されている絵。

・実践の手順：

実践は2回の授業で続けて行った。

1. 1回目の授業：

- 1) 学習者に、図1をもとに作成した図2に示してある1)~6)について文を作成するように指示した。
- 2) 作例後、課題用紙を回収し、間違いを修正せずに、間違いのある箇所のみを示した。

2. 2回目の授業

- 1) 『日本語参照文法』を紹介し、「テイル」のページ<sup>13</sup>を読む<sup>14</sup>ように指示した。
- 2) ページの内容確認後、学習者がペアで、それぞれの作例をチェックし、指摘された間違いについて修正するように指示した。



図2「実践の課題用紙」

## 5. 2 実践の結果

学習者の作例の述語に使われた動詞・表現<sup>15</sup>は表1にある。

<sup>13</sup> 図5-1、5-2、5-3。

<sup>14</sup> ページは日本語か翻訳(母語)かのどちらで読むかを学習者に選ばせた。

<sup>15</sup> 図2の指示文には動詞文を使うように指摘されていたが、動詞以外の品詞の述語での作例もあった。

表1 「作例の述語に使われた動詞・表現」

学習者の作例の動詞とその形【ママ】							
学生No	国籍	例1	例2	例3	例4	例5	例6
1	中国	てらしている	ねっている	たおしている	けっこんした	ぶつかった	焼きました
2	中国	ひかっている	ねっている	たおれた	すわっている	ころんだ	わいた
3	中国	てらしている	ねている	たおれた	だきしめている	ささされている	わいた
4	中国	あびている	ねている	たおしている	イチヤイチャしている	ころされた	かなつしている
5	中国	てらす	ねっている	たおれてしまった	デートしている	たおれた	わいている
6	中国	でている	ねむっている	たおれました	やすんでいる	たおれました	わかす
7	中国	かがやいている	ねっている	たおれました	ラブラブしている	ころされました	わかす
8	中国	あけている	やすんでいる	たおれている	やすんでいる	きづついている	ふっとしている
9	中国	ひがのぼっています	ねています	たおれています	はなしています	たおれています	ふっとうしています
10	中国	ひかっています	ねています	たおれました	すわっています	たおれました	わっています
11	台湾	射した	ねる	たおれる	すわる	やぶれる	～状態になる
12	マレーシア	みる	いる	たおれた	すわります	たおれた	音をする
13	マレーシア	でます	ねている	たおれた	みます	じこがおこった	気体になる
14	マレーシア	みえます	いる	たおれた	はんししている	じこがった	水が無いそうだ
15	マレーシア	天気が良い	リラックスしている	本をとわれた	はなしています	してしまいました	わずかになります
16	マレーシア	はれています	います	たおれました	すわります	けがをしています	にています
17	マレーシア	でている	すごす	たおれてしまった	つきあっている	けいがかしている	あたためている
18	トルコ	はれています	ねています	たおれています	はなしあっています	たおれています	わいています
19	韓国	直射しています	ねってしまいました	たおれました	すわっています	けがをしています	

学習者の作例からは次のことが明らかとなった。

まず、変化動詞と動作動詞の使用に関しては、変化動詞を使うべきところで動作動詞を使っている例があった（文1と文6、図3）。

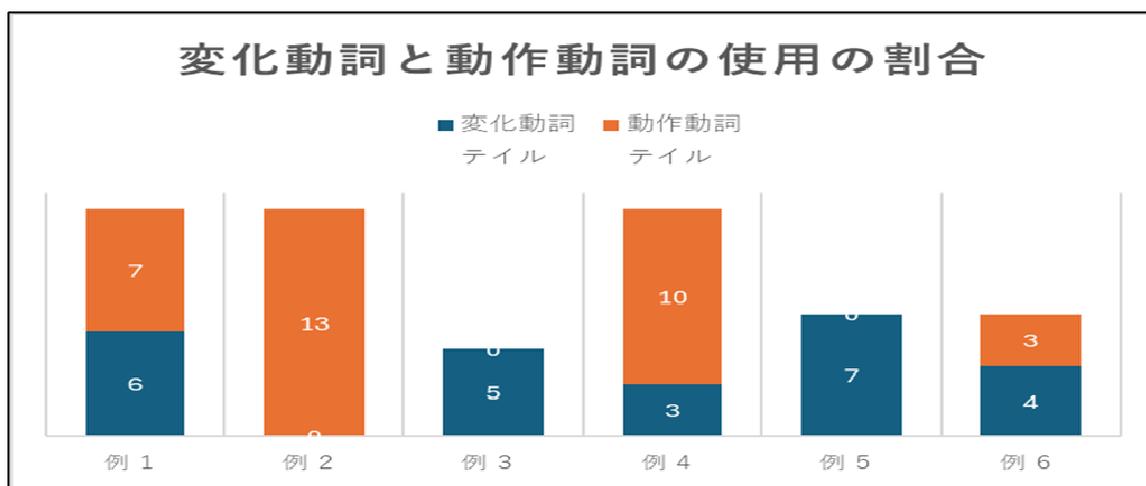


図3 「文1～6に使われている変化動詞と動作動詞の割合」

また、述語動詞のアスペクトの使用に関しては次のパターンが見られた（図4）。

- 1) 結果残存の「テイル」形を使うべきところで完成相の「タ」形を使っている（例3, 例5）
- 2) 動作継続の「テイル」形を使うべきところで「ル」形を使っている（例2, 例4）

この結果は、砂川（2021）の研究で確認された結果と同類であった。

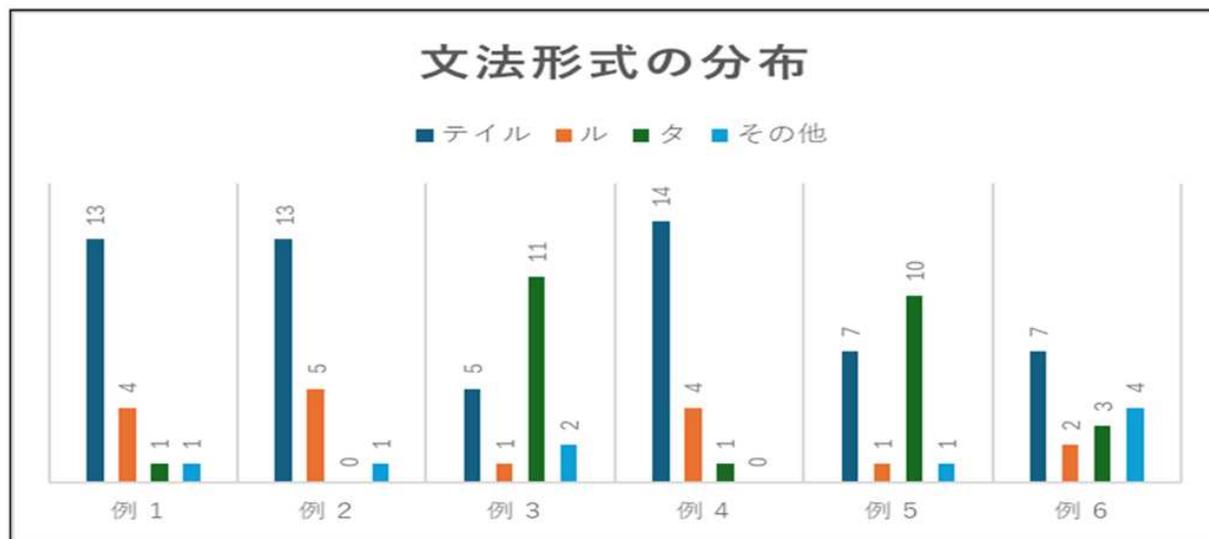


図4 「学習者の作例にあった述語動詞のアスペクト形式の分布」

### 5. 3 『日本語参照文法』<sup>16</sup>

2回目の授業では、まず、『日本語参照文法』を紹介した。その後、学習者が『日本語参照文法』の「テイル」形のページにある動詞タイプの記述（図5-1）および機能1（図5-2）と機能3（図5-3）の説明に特に注意しながら、ペアで、それぞれの作例をチェックし、指摘された箇所間違いを修正する作業を行った。

<sup>16</sup> <https://sansyo-bunpo.net/>

# 51 [Vている]

## 基本情報

旧JLPT該当級：4

品詞：複合動詞⑧[動詞のタイプ]【用語の説明】

前接：V（動詞）て形⑥[動詞活用]

- 意味：1 できごとの進行  
 2 できごとの反復（動き・結果のくりかえし）  
 3 できごとの結果の状態  
 4 経験

## 使い分けが必要な文法・文型

- ・ 1、2Vる119[Vる]
- ・ 1Vつづける（つづく）44[Vつづける（つづく）]
- ・ 3Vである49[Vである]
- ・ 4Vた36[Vた]

## 文型を使う上で理解が必要な情報

### 動詞のタイプ⑧[動詞のタイプ]

1) 動きがある動詞				2) 動きがない (状態) 動詞 Nをとらない 動詞 【ある、いる、できる、似る、似合う】	
①動きがしばらく続く動詞（動作動詞）		②動きが短い動詞（変化／瞬間動詞）			
①-1 Nをとる動詞		②-1 Nをとる動詞 【かぶる、着る】			
①-2 Nをとらない動詞 【歩く、寝る】		②-2 Nをとらない動詞			
①-1-1 自他のペアがない 【食べる、書く】	①-1-2 自他のペアがある 【消す、つける】	②-2-1 自他のペアがない 【死ぬ、結婚する】	②-2-2 自他のペアがある 【消える、つく】		

### 目次

- ・ 51 [Vている]
- ・ 基本情報
- ・ 使い分けが必要な文法・文型
- ・ 文型を使う上で理解が必要な情報
- ・ 機能
- ・ 機能1★：できごとの進行（現在、動きが続いている）
- ・ 機能2★：動き・結果のくりかえし【習慣】（いつも、毎日・・・）
- ・ 機能3★：できごとの結果の状態（結果が続いている）
- ・ 機能4★★：経験・経歴
- ・ コラム
- ・ 確認問題
- ・ 確認問題の説明

図 5-1 『日本語参照文法』にある動詞タイプの記述（「テイル」形のページより）

## 機能

### 機能1★：できごとの進行（現在、動きが続いている）

※動詞のタイプ：1）動きがある動詞の①動きがしばらく続く動詞を使う

#### 機能1用例：

- 例1. 田中さんは、今、ごはんを食べている。  
例2. 子どもは、今、寝ている。

#### 機能1と使い分けが必要な文法・文型：

・Vる

※動詞のタイプ：1）動きがある動詞、2）動きがない動詞を使う

・Vつづける（つづく）

※動詞のタイプ：基本的に、1）動きがある動詞を使うが、2）動きがない動詞を使う場合もある

#### 機能1と使い分けが必要な文法・文型の違い：

Vている：Vの動きがいま続いている

Vる：Vの動きをこれからする

Vつづける（つづく）：Vの動きが終わっていない

※「つづく」は「降る」という動詞のときのみを使う

#### 機能1と使い分けが必要な文法・文型の用例：

- 例3. 田中さんは、これから、ごはんを食べる。  
例4. 田中さんは、来月、結婚する。  
例5. 山の中を5時間歩きつづける。  
例6. 今日一日、雨が降りつづける（つづく）だろう。

### 機能2★：動き・結果のくりかえし【習慣】（いつも、毎日・・・）

※動詞のタイプ：1）動きがある動詞を使う 【※1）②-2-1の動詞はあまり使わない】

#### 機能2用例：

- 例7. 先生は、いつも、研究室で昼ごはんを食べている。  
例8. 毎日、駅まで歩いている。  
例9. この部屋の電気は、いつも、ついている。

#### 機能2と使い分けが必要な文法・文型：

・Vる

※動詞のタイプ：1）動きがある動詞も、2）動きがない動詞も使うが、基本的に動きがしばらく続く動詞と動きがない動詞をよく使う

#### 機能2と使い分けが必要な文法・文型の違い：

VているとVるの大きな違いはないが、「最近」を使うと、「Vている」のほうがいい。

例10. 田中さんは、最近、フランス語を勉強している。

図 5-2 『日本語参照文法』にある「テイル」形の機能1～2

**機能3★：できごとの結果の状態（結果が続いている）**

※動詞のタイプ：1) 動きがある動詞②動きが短い動詞を使う

機能3用例：

- 例11. 教室の電気がついている。  
 例12. 田中さんはコートを着ている。  
 例13. きょうは晴れている。

機能3と使い分けが必要な文法・文型：

・Vである

※動詞のタイプ：1) 動きがある動詞の動きがしばらく続く動詞①-1の動詞を使う

機能3と使い分けが必要な文法・文型の違い：

	動作主（動きをする人）	動き・変化	結果
Vている	×	電気がついた	電気がついている
Vである	先生が	電気をつけた	電気がつけてある

機能3と使い分けが必要な文法・文型の用例：

- 例14. 教室の電気がつけてある。  
 例15. ここに住所が書いてある。

**機能4★★：経験・経歴**

※動詞のタイプ：1) 動きがある動詞を使う

機能4用例：

- 例16. この本はもう読んでいる。  
 例17. この町には10年前に来ている。  
 例18. この橋は5年前に壊れている。（白川監修、『日本語文法ハンドブック』（2001）、p.84）

機能4と使い分けが必要な文法・文型：

・Vた

機能4と使い分けが必要な文法・文型の用例：

- 例19. この本はもう読んだ。  
 例20. この町には10年前に来た。  
 例21. この橋は5年前に壊れた。

機能4と使い分けが必要な文法・文型の違い：

Vている：Vの動き（過去の動き）は発話時（現在）にかかわりがある  
 Vた：Vの動きの完了。Vの動き（過去の動き）は発話時（現在）にかかわりがない

	用例	Vの動き	発話時（現在）とのかかわり
Vている	この本はもう読んでいる。	本を読んだ	今、この本の内容を知っている
	この橋は5年前に壊れている。	橋が壊れた	今、この橋は使えない
Vた	この本はもう読んだ。	本を読んだ	×
	この橋は5年前に壊れた。	橋が壊れた	×

図 5-3 『日本語参照文法』にある「テイル」形の機能3」

『日本語参照文法』のサイトが多言語（130 各国語）への翻訳が可能である（図 6-1、図 6-2）ため、学習者には、サイトを参考する際に、読みやすい言語を選ぶように指示した。翻訳を利用する場合は、翻訳されたページには用例の原文が表示される（図 6-2）ので、例文は日本語で確認することができる。



図 6-1 『日本語参照文法』のページの翻訳機能



図 6-2 『日本語参照文法』の「テイル」ページの英訳

#### 5. 4 学習者の修正から

学習者は、2回目の授業で、『日本語参照文法』を確認してから、ペアで誤用があった作例について修正を行った。ここでは、誤用が最も多かった例 3) の修正結果について報告する。図 4 から明らかとなったように、例 3) では、学習者は、変化動詞は正しく選んでいるが、アスペクト形式に誤用が多く、「テイル」形を使うべきところで、「タ」形を使っていることが多い(表 1)。その結果から、学習者が、動詞のタイプの区別に加え、変化動詞の結果残存という機能を十分に理解していないということがうかがえる。

一方、学習者が『日本語参照文法』を参照してから修正を行った結果(図 7)から、正用が増えたことが明らかとなっている。その結果から、学習者が動詞のタイプについて知識を得れば、誤用を減らすことができると主張できる。

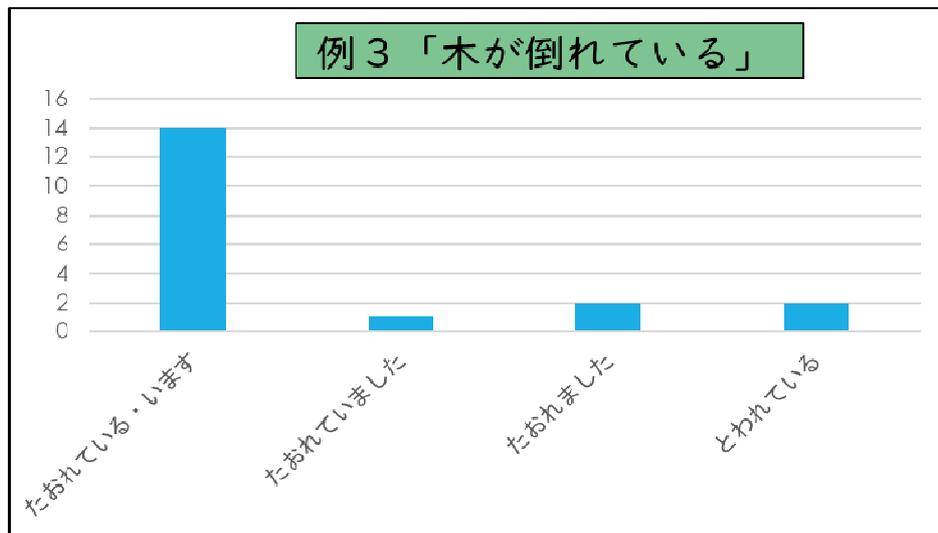


図7 『日本語参照文法』参照後の例3) の修正の結果」

## 6. 補助教材の役割

多国籍クラスが主流の日本国内の日本語教室における学習指導またその指導に用いられる教材には限界がある。本稿で報告した実践をもとに、教室使用の教材では対応が不十分な部分の補充やより深い学びのために補助的リソースが有効であると考えられる。

海外では、一般的に学習者の母語で日本語の教育が行われているため、教材のポテンシャルも大きい。本稿では、その一例として、タイの教材（Fukuike 2008、図8）を挙げたい。

『タイ人によくある失敗例—どうして間違い？なぜ失礼？あなたの日本語』のはしがきには、「本書は、実際に学習者から集めた失敗例の中からタイ語を母語とする学習者によく見られる文法的な間違いや社会的に不適切な表現を提示し、それらの原因をタイ人学習者が理解しやすいように解説したものです。」と記載されている。本教材の8課（p.46-47）では、修飾節に出現する「テイル」形が取り上げられており、学習者の誤用例としては「バスに乗る間に宿題をした」が提示されている。そして、用例に次ぐ説明文には、図8にあるような動詞タイプに関する情報が日本語とタイ語で提示されている。また、付録（p.257, p.285）では、「継続動詞」と「瞬間動詞」とその区別、さらに「継続動詞」・「瞬間動詞」と「テイル」形との共起および「テイル」形の用法と意味の違いについて説明されている（図9）。『タイ人によくある失敗例—どうして間違い？なぜ失礼？あなたの日本語』のように、「テイル」形の使用に必要な動詞タイプといった複雑な情報が提示できるのは、学習者が文法に関する解説を母語で読むことができるからこそである。

近年、機械翻訳の技術が発展しているので、紙媒体だけでなく、オンラインでも、翻訳の機能を取り入れた教材開発が可能となり、教材の可能性が大きく広がっている。今後、学習者の運用能力の向上のためにも、技術のそういったポテンシャルを活かしたリソースづくりが必要であろう。

**8** ทำการบ้านเสร็จ ระหว่างที่นั่งรถเมล์

X **バスに乗る間に宿題をした。**

トナリ: 博士、どうして「バスに乗る間に」はだめなんですか。私はよくバスの中で宿題をやりませんが。

トナリ: バスに乗る間に宿題をしてみえる人はいないでしょう。「バスに乗る間」というのはバス停からバスの中に入るまでの時間のことなんです。

トナリ: えっ、そうだったんですか。

O **バスに乗っている間に宿題をした。**

**解説**

「乗る」という動詞は、乗り物の外から乗り物の中に入るという動作を表しています。ですから、「バスに乗る間」というのはバス停からバスの中に入るまでの時間を指していることになります。

バスに乗る  


バスに乗った  


バスに乗っている  


「乗る」のように瞬間的に終わる動作を表す動詞を **瞬間動詞** と言います。瞬間動詞には、「立つ」「座る」「着る」「寝る」「持つ」「停まる」などがあります。

上の図からわかるように、瞬間動詞はその動作が完了した瞬間を「～た」(た形)で表し、動作完了後の継続している状態を「～ている」(進行形)で表します。ですから、例文の場合、この人が宿題をしたのは、「バスに乗る間」ではなく、「バスに乗っている間」と言わなければなりません。

一方、ある程度の時間が続く動詞を **継続動詞** と言います。継続動詞には、「作る」「眠る」「待つ」「読む」「歩く」などがあります。継続動詞の場合は、動作が継続している状態を表すのに、「～する」と「～ている」のどちらも使えます。【付録4参照 p.257】

**8** ทำการบ้านเสร็จ ระหว่างที่นั่งรถเมล์

X **バスに乗る間に宿題をした。**

トナリ: 博士、ทำไม “バスに乗る間” ถึงใช้ไม่ได้คะ เหตุทำที่บ้านรถเมล์น้อย ๆ ค่ะ...

トナリ: คนที่ทำที่บ้านได้คือขึ้นรถเมล์ไม่มีรถออกครับ “バスに乗る間” นั้นหมายถึง ช่วงเวลาจากป้ายรถเมล์จะเข้าไปในรถครับ

トナリ: อ้อ อย่างนั้นหรอคะ

O **バスに乗っている間に宿題をした。**

**คำอธิบาย**

กริยา “乗る” แสดงถึงความเคลื่อนไหวจากนอกยานพาหนะเข้าไปอยู่ในพาหนะ ดังนั้น “バスに乗る間” นั้นจะหมายถึง ช่วงเวลาจากป้ายรถเมล์เข้าไปอยู่ในรถเมล์

ขึ้นรถเมล์  


อยู่ในรถเมล์  


นั่งอยู่ในรถเมล์  


กริยาที่แสดงถึงความเคลื่อนไหวที่เสร็จสิ้นในชั่วขณะอย่างเช่น “乗る” นั้น เราเรียกว่า **กริยาชั่วขณะ** กริยาที่อยู่ในกลุ่มกริยาชั่วขณะ ก็อย่างเช่น “立つ” “座る” “着る” “寝る” “持つ” “停まる” เป็นต้น

จากจุดที่ผ่านมกริยาชั่วขณะนั้น ถ้าจะแสดงถึงชั่วขณะที่มีความเคลื่อนไหวนั้นจบสิ้นจะใช้รูป “～た” และถ้าจะแสดงถึงสภาพต่อเนื่องหลังจากความเคลื่อนไหวนั้นเสร็จสิ้นก็จะใช้รูป “～ている” ดังนั้น ในการมีประโยคตัวอย่าง ช่วงเวลาที่คนนั้นทำบ้านจะพูดว่า “バスに乗る間” ไม่ได้ ต้องพูดว่า “バスに乗っている間”

ในทางกลับกัน กริยาที่ต้องอาศัยความต่อเนื่องของเวลา เราเรียกว่า **กริยาต่อเนื่อง** กริยาที่อยู่ในกลุ่มกริยาต่อเนื่อง ก็อย่างเช่น “作る” “眠る” “待つ” “読む” “歩く” เป็นต้น ในการมีกริยาต่อเนื่อง การแสดงถึงสภาพต่อเนื่องของความเคลื่อนไหว เราจะใช้ รูป “～する” หรือ “～ている” ก็ได้ (อ้างอิงคำอธิบายเสริม 4 หน้า 285)

图 8 「Fukuike 他『タイ人によくある失敗例—どうして間違い?なぜ失礼?あなたの日本語』(2008)にある「テイル」の用法に関する説明

### 4 継続動詞と瞬間動詞

継続動詞とは、ある程度の時間長く動作を表す動詞のことです。  
瞬間動詞とは、瞬間的に終わってしまう動作を表す動詞のことです。

継続動詞の例	瞬間動詞の例
作る、待つ、読む、書く、働く、 食べる、使う、泳ぐ、走る、歩く、 飲む、遊ぶ、話す、勉強する、 旅行する、買い物する	乗る、着る、はく、持つ、立つ、座る、 始まる、終わる、来る、着く、寝る、 入る、出る、(電気が)つく、消える、 死ぬ

◎継続動詞と瞬間動詞の文法的な性質の違い  
継続動詞と瞬間動詞は、動詞を「～ている」の形にした時に表す動作の状態が異なります。下の図を見てください。

継続動詞：「～ている」の形が動作の進行中の状態を表す

料理を作る → 料理を作っている → 料理を作った

瞬間動詞：「～ている」の形が動作の完了後の状態を表す

バスに乗る → バスに乗った → バスに乗っている

### 4 กริยาต่อเนื่องและกริยาชั่วขณะ

กริยาต่อเนื่อง คือ กริยาที่แสดงการกระทำอย่างต่อเนื่องในช่วงเวลาหนึ่ง  
กริยาชั่วขณะ คือ กริยาที่แสดงการกระทำที่จบลงในช่วงหนึ่ง

ตัวอย่างกริยาต่อเนื่อง	ตัวอย่างกริยาชั่วขณะ
作る、待つ、読む、書く、働く、 食べる、使う、泳ぐ、走る、歩く、 飲む、遊ぶ、話す、勉強する、 旅行する、買い物する	乗る、着る、はく、持つ、立つ、座る、 始まる、終わる、来る、着く、寝る、 入る、出る、(電気が)つく、消える、 死ぬ

◎ ความแตกต่างทางคุณสมบัติด้านไวยากรณ์ของกริยาต่อเนื่องและกริยาชั่วขณะ  
กริยาต่อเนื่องและกริยาชั่วขณะในกรณีที่ทำให้อยู่ในรูป “～ている” สภาพของการกระทำที่แสดงจะแตกต่างกัน

กริยาต่อเนื่อง : รูป “～ている” จะแสดงสภาพของการกระทำที่กำลังดำเนินอยู่

料理を作る → 料理を作っている → 料理を作った

กริยาชั่วขณะ : รูป “～ている” แสดงสภาพหลังการกระทำเสร็จสิ้น

バスに乗る → バスに乗った → バスに乗っている

図9 「Fukuike 他『タイ人によくある失敗例—どうして間違い？なぜ失礼？あなたの日本語』、p.257, p.285 (2008) にある継続動詞と瞬間動詞に関する説明」

7. おわりに

本稿では、「テイル」形を事例に、日本語のアスペクトの習得と運用について考察した。また、アスペクト形式の使用で見られる学習者の誤用の改善にも役立つ補助的リソースの役割およびリソース開発の必要性についても考慮した。

## 参考文献

- 市川保子編（2010）『日本語誤用辞典』スリーエーネットワーク
- 許夏珮（1997）「中・上級台湾人日本語学習者による『テイル』の習得に関する横断研究」『日本語教育』95, 37-48.
- グループ・ジャマシー編（1998/2023）『日本語文型辞典』くろしお出版
- 工藤真由美（1995）『アスペクト・テンス体系とテクストー現代日本語の時間の表現』ひつじ書房
- 国際交流基金他（2014）『まるごと日本のことばと文化初級 1 A2』三修社
- 砂川有里子（2021）「テイルの習得に与える母語の影響 ー動詞の語彙的アスペクトに着目して」『日本語教育連絡会議論文集』vol.34, 152-162.<https://renrakukaigi.kenkenpa.net/ronbun34.html>
- 高見健一・久野暉（2006）『日本語機能的構文研究』大修館書店
- 寺村秀夫（1984）『日本語のシンタクスと意味II』くろしお出版
- 牧野昭子・澤田幸子・重川明美・田中よね・水野マリ子（2022）『みんなの日本語 翻訳・文法解説英語版』スリーエーネットワーク
- 『みんなの日本語 初級I』（2012）スリーエーネットワーク
- 『みんなの日本語 初級II』（2013）スリーエーネットワーク
- 吉川武時（1973）「現代日本語動詞のアスペクトの研究」*Linguistic Communications, Monash University* 9。金田一春彦（編）（1976）『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房, 155-328 に再録
- 吉川武時（1989）『日本語文法入門』アルク
- Fukuike, A., Ch. Yoshioka, M. Kohno, Y. Horikiri, （2008）『タイ人によくある失敗例ーどうして間違い？なぜ失礼？あなたの日本語』TPA Press.